

参考 香子とくに大印保存記

Table with columns: 番号, 編題, 裏紙等=要旨, 年月日, あと先, 作成者, 備考, 状態, 数量. It lists various historical documents and their details.

市原市菊間

若宮八幡宮 旧神宮根本家文書

調査記録書

平成 29 年 1 月

市原の古文書研究会 八幡史学館名所 100 選チーム





Table with columns for document ID (e.g., C1-1-1), title, date, author, and other details. Includes entries like 'C1-1-1 宿有地御札下届' and 'C2 (個人資料)'.

D9 神道内伝資料之有略記

Table with columns for document ID (e.g., A15-37), title, date, author, and other details. Includes entries like 'A15-37 相濟申渡地元の事' and 'B1-1-1 (免責状)'.



A3-9	3月祭礼式	なし=院経、献杯	1714(正徳4年)午3月13日	なし	宮司		状	1	◎	○
A3-10	一札の事	富永彦兵衛殿知行所名主左衛門証文、	正徳4年根本采女=天羽六郎左衛門跡職	なし	根本采女殿	菊間若宮村太左衛門	状	1	○	○
A3-11	覚	なし=社家御案目	1714(正徳4年)午6月11日	なし	なし	鈴鹿豊前守、鈴鹿将監、鈴鹿内匠	状	1	◎	○
A3-12	以上上書申上候事	菊地四郎右衛門伴宇兵衛願書	1718享保3年戌10月10日	神主殿御役人	右兵衛	鶴岡甚三郎、天羽主計、東善院ほか	状	1	△	○
A3-13	一札の事	甚三郎社人取立一札	1721享保6年丑10月9日	神主大炊頭殿	なし	池田善八郎手代長沢友太夫ほか	状	1	○	○
A3-14	請取申国役銀の事	高役銀の事	1724享保9年辰12月13日	根本大炊頭殿	なし	池田善八郎手代長沢友太夫ほか	状	1	○	○
A3-15	覚	差納の控=川々普請高役銀社領分	1724享保9年辰12月	池田善八郎	根本大炊頭殿	なし	状	1	○	○
A3-16	奉願口上覚	地蔵院願出	1725享保10年巳3月	根本大炊頭殿	地蔵院	なし	状	1	○	○
A3-17	請取申国役金銀の事	国役金請取	1725享保10年巳11月22日	根本大炊頭殿	池田善八郎手代高橋弥忠太ほか	なし	状	1	○	○
A4-1	証文	房官手形、次郎右衛門=掃除役房官	1727享保12年未12月15日	神主様御代官天羽吉之丞	房官次郎右衛門	なし	状	1	○	○
A4-2	請取申国役銀の事	国役銀請取	1727享保12年未11月8日	根本大炊頭殿	日野小左衛門手代羽中左四郎ほか	なし	状	1	○	○
A4-3-1	(土地絵図面)	なし=組屋敷稲荷変遷	1727享保12年未11月2日	都筑兵右衛門殿ほか	御小人伴領人高木元平ほか	なし	状	1	○	○
A4-3-2	(土地絵図面断片)	なし=組屋敷稲荷変遷	1727享保12年未11月2日	なし	なし	なし	状	1	○	○
A4-4	口上の覚	1枚宛両年番に持参下書=組屋敷稲荷	1728享保13年申2月16日	中田郷右衛門、藤田六郎右衛門	神主大炊頭殿	なし	状	1	○	○
A4-5	なし	享保13申極月八幡村の取立書付=国役金	1728申12月7日	なし(日野根役所持参)	菊間郷根本大炊頭殿	なし	状	1	○	○
A4-6	(田地証文)	なし=この方百姓清兵衛	1729享保14年酉3月	千光院様、根本	久右衛門	なし	状	1	○	○
A4-7	口上	享保14年酉正月17日月番井上河内守様へ	1729享保14年3月29日	御奉行所御役人中	根本大炊頭殿	2月10日被仰付、11日に野田殿へ役銀納相済	状	1	○	○
A4-8	作恐別紙口上書を以申上候御事	なし=富岡長徳寺へ寄付の田地取り戻し	1729享保14己酉年5月	御4ヶ寺様	富岡村長徳寺	なし	状	1	△	○
A4-9	作恐返答書を以申上候事	なし=延命寺願出	1729享保14年己酉4月	円福寺様御役者衆中	大馬屋村延命寺、惣目中、名主庄助	なし	状	1	△	○
A4-10	双方へ相渡申取証文の事	トクナガへ=田地取り扱い証文	1729享保14年己酉3月29日	名主惣八殿、甚左衛門ほか	千光院、根本大炊頭殿	なし	状	1	○	○
A4-11	覚	国役銀請取=川通り普請国役銀	1729享保14年酉2月11日	根本大炊頭殿	池田三郎左衛門手代佐久間宅右衛門	なし	状	1	○	○
A4-12	国役金請取の事	西国役金請取手口=社領分	1729享保14年酉霜月13日	主計殿	名主太兵衛、七郎兵衛	なし	状	1	○	○
A4-13	請取申国役銀の事	国役請取=御社領20石分	1730享保15年戌12月7日	根本大炊頭殿	名主喜太夫、七郎兵衛	なし	状	1	○	○
A4-14	国役銀請取の事	なし=御社領20石分	1731享保16年亥12月10日	若宮主計殿	名主喜太夫、組頭七郎兵衛	なし	状	1	○	○
A4-15	用水溝代地渡し証文の事	社領の内下口所清右衛門分用水溝代6給名主より証文	1731享保16年亥2月	市川儀右衛門殿	名主喜太夫、惣八、次右衛門、幸右衛門	なし	状	1	○	○
A4-16	差上申一札の事	大炊頭、地蔵院へ役料寄付一札	1732享保17年壬子12月23日	醍醐三宝院末寺千光院	地蔵院宥澄	なし	状	1	○	○
A4-17	社役奉願候証文の事	地蔵院社役料上地一件一札	1732享保17年壬子12月23日	根本大炊頭殿	地蔵院宥澄	なし	状	1	○	○
A4-18	証文	地蔵院へ田地寄付一札、享保17年、根本大炊頭	1732享保17年壬子12月23日	地蔵院	根本大炊頭	なし	状	1	○	○
A4-19	請取申国役銀の事	なし=御社領20石分	1733享保18年丑の9月4日	御社領代官吉之丞殿	名主喜兵衛	なし	状	1	○	○
A4-20	(万徳寺書状)	なし=若宮寺様当時延命院隠居	1734享保19年端無月16日	根本大炊頭殿	万徳寺	なし	状	1	△	○
A4-21	相渡申取証文の事	神主殿月拜田地証文	1735享保20年卯12月6日	八幡宮神主殿	名主才次郎、組頭2名、地主新左衛門	なし	状	1	○	○
A4-22	差上申一札の事	御宮の木造候節料託証文	1740元文5年度申11月5日	神主殿	同木挽権三郎、伯父四郎兵衛	なし	状	1	○	○
A4-23	御修復料米未進証文の事	六郎左衛門	1742寛保2年戌2月11日	神主殿	預り主六郎左衛門、立合証人8人	なし	状	1	○	○
A4-24	御本社請負積上の事	大工=3間社流造り御本社見積り	1744延享元年子の櫻月	菊間村天羽主計殿	八幡村棟梁山口修理	なし	状	1	◎	○
A4-25	(若宮寺書状)	なし=修復金借用願出	1746延享3年3月17日	根本大炊頭殿	若宮寺慶口	なし	状	1	○	○
A4-26	覚	なし=年貢差引勘定相済	1747延享4年卯11月26日	神主様	市郎左衛門	なし	状	1	○	○
A4-27	覚	なし=年貢差引勘定相済	1748寛延元年辰11月29日	神主様	市郎左衛門	なし	状	1	○	○

A4-28	口上	月蔵坊留守居入口口状也、禪智坊 広運 御進候間口達	1749寛延2年己巳8月念5日	根本大炊頭様御近習口達	満徳寺禪智坊広運	なし	状	1	○	○
A4-29	覚	なし=年貢付送伏	1749寛延2年己巳12月3日	神主様	市郎左衛門	なし	状	1	○	○
A4-30	覚	なし=年貢差引勘定相済	1750寛延3年午12月23日	神主様	市郎左衛門	なし	状	1	○	○
A4-31	(書状)	なし	1747延享4年3月朔日	根本大炊頭	祐玄	なし	状	1		
A4-32	(書状)	なし	1741元文6年	大炊頭	幸音坊住持深光	なし	状	1		
A5-1	一札	寛延4年天羽主計より退役願出に付根本大炊頭差許一札	1751寛延4年2月11日	天羽権平方へ	根本大炊頭	なし	状	1	○	○
A5-2	覚	なし=年貢差引勘定相済	1751宝暦元年未12月	神主様	市郎左衛門	なし	状	1	○	○
A5-3	覚	なし=年貢差引勘定相済	1753宝暦3年酉12月	根本斎宮様	市郎左衛門	なし	状	1	○	○
A5-4	覚	なし=年貢差引勘定相済	1755宝暦5年亥12月21日	根本斎宮様	市郎左衛門	なし	状	1	○	○
A5-5	(書状)	なし	1756宝暦6年10月21日	根本日章斎様	三好助右衛門	なし	状	1	○	○
A5-6	一札	天羽半助へ不如意に付社役料遺す一件	1756宝暦6年子12月	根本日章斎様	天羽半助	なし	状	1	△	○
A5-7	覚	なし=年貢差引勘定相済	1756宝暦6年子12月7日	根本斎宮様	市郎左衛門	なし	状	1	○	○
A5-8	覚	なし=年貢差引勘定相済	1757宝暦7年丑11月22日	根本斎宮様	市郎左衛門	なし	状	1	○	○
A5-9	奉寄進修復料田地事	なし	1757宝暦7年丁丑6月	上総菊間八幡宮宝前	当社宮司根本大炊頭胤満	なし	状	1	◎	○
A5-10	覚	とら=年貢差引勘定	1758宝暦8年寅12月25日	根本斎宮様	市郎左衛門	なし	状	1	○	○
A5-11	銀曳方請取証文の事	なし=鐘樓堂請負金請取証文	1752宝暦2年申7月15日	神部舍人殿	仁右衛門	なし	状	1	△	○
A5-12	口上の覚	幸音坊主膳北窪木造伐に付社領代官天羽主計より常陸介へ詫証一札	1760宝暦10年辰正月29日	根本常陸介殿	御社領代官天羽主計	なし	状	1	○	○
A5-13	口上覚	主膳盗伐に付千光院より常陸介投入一札	1760宝暦10年辰正月29日	根本常陸介殿	千光院	なし	状	1	○	○
A5-14	口上の覚	北窪山盗伐に付幸音坊より常陸介詫書一札	1760宝暦10年辰正月23日	根本常陸介殿	幸音坊	なし	状	1	○	○
A5-15	覚	已=差引年貢済済	1761宝暦11年巳12月23日	常陸介様	市郎左衛門	なし	状	1	○	○
A5-16	口上覚	市川主膳北窪山盗伐に付口上詫書一札	1760宝暦10年辰の正月23日	根本常陸介殿	市川主膳	なし	状	1	○	○
A5-17	一札の事	なし=北の窪伐採につき詫状一札	1760宝暦10年辰の正月28日	神主根本常陸介殿	若宮源右衛門、安右衛門、社僧禪智	なし	状	1	○	○
A5-18	一札の事	宇兵衛陣儀役御免の件	1760宝暦10年辰11月15日	神主根本常陸介殿	宇兵衛、主膳、又左衛門、主計、幸音	なし	状	1	○	○
A5-19	証文	御朱印社領内渡し証文	1762宝暦12年午閏4月	宮崎金蔵どの	根本大炊頭	なし	状	1	○	○
A5-20	差上申一札の事	宮崎金蔵役料遺証文	1762宝暦12年午閏4月	神主根本常陸介様	宮崎金蔵	なし	状	1	○	○
A5-21	覚	国役米酒井兼次郎殿より上納請取	1762宝暦12年午9月	神主根本常陸介様	市(虫食い)	なし	状	1	○	○
A5-22	覚	未=差引年貢済済	1763宝暦13年未12月24日	常陸介様	市郎左衛門	なし	状	1	○	○
A5-23	覚	市郎左衛門細より国役金申来差出	1763宝暦13年未9月	なし	なし	なし	状	1	○	○
A5-24	覚	申12月=差引年貢済済	1764明和元年申の12月15日	常陸介様	市郎左衛門	なし	状	1	○	○
A5-25	一札	八幡宮大鳥居造立日延一札 八丁堀石屋万三郎	1764明和元年申の6月18日	御社領代官天羽主計殿	八丁堀松屋太郎兵衛店石屋万三郎	なし	状	1	◎	○
A5-26	白草育先生碑帖職草稿	なし	1765明和2年秋7月	なし	東海平徳胤	なし	状	1	○	○
A5-27	社役料差上申証文の事	明和2年乙酉12月主膳退役	1765明和2年乙酉12月	根本常陸介殿	願人主膳、親類、代官主膳	なし	状	1	○	○
A5-28	覚	6給一同に出る、幸音、月蔵、神領故除地は不書出	1766明和3年戌10月	長田新五郎様御内閣戸瀬左衛門様	菊間村名主左兵衛	なし	状	1	◎	○
A5-29	覚	戌=年貢差引勘定相済	1768明和3年戌の12月25日	常陸介様	市郎左衛門	なし	状	1	○	○
A5-30	覚	亥=年貢済済	1767明和4年戌の12月26日	常陸介様	市郎左衛門	なし	状	1	○	○
A5-31	覚	市郎左衛門子送り=差引年貢済済	1768明和5年子の12月29日	常陸介様	市郎左衛門	なし	状	1	○	○
A5-32	人請伏の事	佐吉	1768明和5年子の12月27日	神主殿	人主長重郎、請入七兵衛	なし	状	1	○	○
A5-33	子割付	子	1769明和8年丑の3月29日	畑次郎殿	名主左兵衛	なし	状	1	○	○

A5-34	拝借仕金子の事	幸=幸音坊屋根大破に付社用金の内拝借	1770明和7年寅3月	神主殿	拝借人幸音院、証人代官天羽主計	杖	1	△	○
A5-35	覚	台組=差引年貢皆済	1771明和8年卯の12月28日	常陸介様	市郎左衛門	杖	1	○	○
A5-36	覚	なし=年貢、高役皆済	1772安永元年辰の12月晦	常陸介様	市郎左衛門	杖	1	○	○
A5-37	覚	徳永組辰とし=年貢皆済	1773安永2年巳2月	畑次郎殿	名主宗右衛門	杖	1	○	○
A5-38	一礼のこと	なし=落しくじ一礼	1773安永2年巳2月	根本常陸介	元右衛門	杖	1	○	○
A5-39	覚	なし=年貢皆済	1773安永2年辰極月	根本常陸介		杖	1	○	○
A5-40	差上申一礼の事	安永4年天羽主計退役一礼	1775安永4年未2月25日	根本常陸介	天羽主計	杖	1	○	○
A5-41	覚	未とし=年貢皆済	1775安永4年未2月25日	根本常陸介		杖	1	○	○
A5-42	覚	なし=台組成年貢出し辻	1775安永7年	なし	欠落	杖	1	○	○
					なし	杖	1		
A6-1	年賦金証文の事	庄右衛門=	1776安永5年申12月	神主殿	借主庄右衛門	杖	1		
A6-2	覚	未とし=徳永組年貢皆済	1776安永5年申3月28日	畑次郎殿	徳永組名主善兵衛	杖	1	○	○
A6-3	田畑高反別帳	菊間村の分郷筒井与次右衛門知行所	1777安永6丁酉年4月中旬	なし	地主畑次郎	半折帳	1		
A6-4	願書	なし=組屋敷御守護失につき拝殿他造立	1778安永7年戌11月	松浦安右衛門殿	御組屋敷御守護預り根本常陸介	杖	1	○	○
A6-5	覚	台組安永7年分=差引勘定	1778安永7年戌	なし	なし	杖	1	○	○
A6-6	一礼	なし=組屋敷御守護宿居一礼	1778安永7年戌11月	根本常陸介	足羽左内、杉本出雲	杖	1	○	○
A6-7	差上申一礼の事	主計伴半蔵代替天羽主計取立一礼	1780安永9年子3月	神主根本常陸介	天羽主計	杖	1	○	○
A6-8	覚	なし=借用金受取	1780安永9年子の11月晦日	菊間村常陸介	いそがや村清助	杖	1	○	○
A6-9	勤定覚	安永9年徳永組=兵右衛門組年貢	1780子(安永9年)極月23日	なし	なし	杖	1	○	○
A6-10	覚	なし=年貢皆済	1780安永9年子の12月	常陸介様	市郎左衛門	杖	1	○	○
A6-11	差上申一礼の事	安永9年徳性院住元良、住職証文一通=	1780安永9年子8月8日	根本常陸介	社僧月蔵坊住元良	杖	1	○	○
A6-12-1	覚	天明元年丑とし分=年貢勘定	1781天明元年丑	なし	なし	杖	1	○	○
A6-12-2	(断片)					杖	1	○	○
A6-13	覚	20石国役1勾5分5厘、代170文遣受取=	1781天明元年丑9月24日	常陸介様	市郎左衛門	杖	1	○	○
A6-14	(書状)	なし=鎮守稻荷空地に武術稽古所建立	1781天明元年4月14日	根本常陸介	吉岡忠蔵	杖	1	○	○
A6-15	借用申米証文の事	兵右衛門、市平分なり=米1俵借用	1782天明2年寅12月	畑次郎殿	兵右衛門	杖	1	○	○
A6-16	覚	なし=年貢皆済	1783天明3年卯の4月9日	根本常陸介	市郎右衛門	杖	1	○	○
A6-17	御構地所書付	なし=基五左衛門養子重蔵構い場所	1784天明4年5月27日	なし	なし	杖	1	○	○
A6-18	覚	なし=御社領分園役金受取	1784天明4年辰8月6日	常陸介	市郎左衛門	袋紙付	杖	1	○
A6-19	差上申一礼の事	市川主膳社家再度取立に付一礼	1784天明4年辰正月	根本常陸介	主家市川主膳	杖	1	○	○
A6-20	借用申米の事	善三郎=借用米のこと	1785天明5年巳年正月	畑次郎殿	借主八郎兵衛	杖	1	○	○
A6-21	一礼の事	台無金=頼母子講無尽受取り	1786天明6年午12月	根本常陸介	証人市郎左衛門、清七郎	杖	1	○	○
A6-22	証文の事	菊池四郎右衛門社家取立一礼	1787天明7年未12月	社家菊池四郎どの	神主根本常陸介	杖	1	○	○
A6-23	差上申一礼の事	郡蔵社家取立一礼	1788天明8年申2月	神主根本常陸介	根本郡蔵	杖	1	○	○
A6-24	一礼の事	宇兵衛より常陸介へ退役一礼	1788天明8年申9月2日	神主根本常陸助様	親類善右衛門、当人卯兵衛	杖	1	○	○
A6-25	目録、御朱印改覚	なし	1788天明8年申2月	なし	なし	杖	1	○	○
A6-26	請合証文の事	半平=請合証文	1789天明9年酉2月	神主殿	借主半平、請合三十郎	杖	1	○	○
A6-27	郷社領名寄帳	なし=名寄帳	1789寛政元年酉12月	なし	神主根本常陸立合御改	冊	1	○	○
A6-28	一礼の事	寛知地蔵院住職の件一礼	1794寛政6年卯8月	神主根本常陸介	菊間村地蔵院寛知	杖	1	○	○
A6-29	新義真言宗絵図面	此方より口方八幡村本寺へ差出候写	1790寛政2年戌9月	寺社御奉行所	菊間村徳生院	杖	1	◎	○
A6-30	未進米証文の事	だい新助	1792寛政4年子2月	神主殿	借主新助、請合新之丞	杖	1	○	○
A6-31	覚	丑年口=年貢皆済	1793寛政5年11月22日	畑次郎殿	名主基左衛門	杖	1	○	○
A6-32	覚	徳永組=年貢皆済	1793寛政丑5年12月	畑次郎殿	名主次兵衛	杖	1	○	○
A6-33	神楽殿普請	神楽殿普請大工友蔵、世話人茂兵衛	1794寛政6年寅12月	根本常陸介	菊間大工友蔵、世話人茂蔵	杖	1	◎	○
A6-34	覚	富永組皆済手形=年貢皆済	1794寛政6年寅12月26日	畑次郎殿	名主兵助	杖	1	○	○

A6-35	差上申一礼の事	四郎右衛門一礼=下社家許状	1795寛政7卯年11月	根本河内殿	下社家菊池四郎右衛門	杖	1		○
A6-36	一礼の事	地蔵院寛智退任の事	1795寛政8年辰10月6日	千光院方丈様、根本河内様	地蔵院寛智	杖	1		○
A6-37	一礼の事	なし=印形変更	1795寛政8年辰10月6日	千光院方丈様、根本河内様	地蔵院寛智	杖	1		○
A6-38	願書	市川軍曹、鶴岡左近両人へ横折裁許状分付願	1795寛政8年辰2月	御本所様御役所	菊間村八幡宮神主	杖	1		○
					願人根本河内	杖	1		○
A6-39	覚	根本河内、千光院との取替	1795寛政8年辰10月7日	根本河内殿	本寺千光院	杖	1		○
A6-40	一礼の事	地蔵院寛智住職一礼	1795寛政7卯年6月	根本河内殿	菊間村地蔵院親智	杖	1		○
A6-41	差上申一礼の事	幸音坊住徳山、寛政8年12月根本河内	1795寛政8辰年12月	根本河内助様	幸音坊住徳山	杖	1		○
A6-42	十万遍講中造立石造銘文	なし=図面	1795寛政9巳年10月	なし	徳性院現住徳英	杖	1		○
A6-43	差上申一礼の事	市川軍曹一礼	1795寛政9巳年12月	八幡宮神主根本河内殿	下社家市川軍曹、同親類市川徳右衛門	杖	1		○
A6-44	一礼の事	軍曹社役料に遺す田地一礼控	1795寛政9巳年12月	下社家市川軍曹殿	神主根本河内	杖	1	○	○
A6-45	差上申一礼の事	軍曹一軍曹一礼	1795寛政9巳年12月	神主根本河内殿	下社家市川軍曹、親類市川徳右衛門	杖	1		○
A6-46	一礼の事	軍曹渡控、社役料分配の件	1795寛政9巳年12月	下社家市川軍曹殿	神主根本河内、名主吉兵衛	杖	1		○
A6-47	奉納納寄付証文の事	六右衛門神楽殿修復料として田地寄付の書付一礼、根本河内	1797寛政11年未の4月	神主河内殿	菊間村願主六右衛門、組頭与左衛門	杖	1		○
A6-48	一礼の事	月蔵坊、禅智幸音坊より月蔵坊へ転住願出一通也	1789天明9年申正月	神主殿	社僧月蔵坊住禅智	杖	1		○
A7-1	差上申一礼の事	鶴岡左近下社家取立一礼	1800寛政12年申3月	神主根本河内殿	下社家鶴岡左近、親類総代庄助	杖	1		○
A7-2	差上申一礼の事	下社家基右衛門取立一礼	1800寛政12年申11月	神主河内殿	下社家基右衛門	杖	1		○
A7-3	一礼の事	千光院承渡と為取替一礼	1803享和3亥年9月	印内山承渡法印様	神主根本河内	杖	1		○
A7-4	一礼の事	神主家女人小見地蔵へ死滅取替候事、千光院と取替一礼	1803享和3年亥9月	神主河内様	千光院	杖	1		○
A7-5	一礼の事	なし=杉木代金請取一礼	1803享和3年亥3月	八幡宮善右衛門殿	菊間村根本河内、同村証人平右衛門	杖	1		○
A7-6	一礼の事	下書、根本河内と印内山承渡との取替	1803享和3年亥9月	印内山承渡法印様	根本河内亮	杖	1		○
A7-7	差上申一礼の事	天羽主計社役休期を根本大式へ嘆願一礼	1805文化2丑年12月	神主根本齋宮様	社家天羽主計、親類又右衛門	杖	1		○
A7-8	一礼	東漸院徳山千光院未月蔵印へ移転一礼	1805文化2丑年11月	菊間村根本齋宮様	菊間村東漸院徳山	杖	1		○
A7-9	差上申一礼の事	幸音院有山より誓約一礼	1807文化4年卯4月	根本齋宮様	幸音院住有山	杖	1		○
A7-10	一礼の事	萩作満光院善成の世話にて海保遍照院弟子を社僧取立一礼	1807文化4年卯4月	根本齋宮様	萩作村満光院住善成	杖	1		○
A7-11	一礼の事	なし=小作米金年延べ一礼	1808文化5年戌辰8月	根本齋宮様	田中前小作人長七、親類市(虫喰い)	杖	1		○
A7-12	差上申一礼の事	なし=幸音坊留守居海伝一礼	1809文化6巳年12月	根本齋宮様	幸音坊留守居海伝	杖	1		○
A7-13	一礼の事	海伝=東漸院留守居海伝につき戒誓寺一	1809文化6巳年12月	根本齋宮様	戒誓寺	杖	1		○
A7-14	一礼の事	なし=社僧東善院留守居恵静に付観音寺一	1811文化8年未4月	根本齋宮様	当所法類観音寺	杖	1		○
A7-15	差上申一礼の事	なし=大杉差渡し申す一礼	1811文化8年未12月27日	久保田村又七殿	菊間村神主根本齋宮、同村証人木挽	杖	1		○
A7-16	(欠番)								
A7-17	差上申一礼の事	なし=恵静一礼	1811文化8年未4月	根本西宮	忠静	杖	1		○
A7-18	一礼の事	なし=徳性院再建につき一礼	1815文化12年亥7月	八幡村満徳寺様	勝間村6給惣代名主勝左衛門、喜八	杖	1		○
A7-19	高斗也	根本大式より宮崎主水へ社役料分配証	1818文政元年極月	社家宮崎主水殿	神主根本齋宮為胤	杖	1		○
A8-1	差上申証文の事	杉山一か所差渡申証文	1828文政11年6月21日	善右衛門殿馬居	山亮主神主根本大式、証人四郎右衛門	杖	1		○
A8-2	乍恐以書付奉願上候	なし=御朱印上包紙について	1838天保9年戌6月	本多下総守様、牧野備前守	様御役人衆中	杖	1		○
A8-3	差上申御詫一礼の事	なし	1840天保11子年11月朔日	根本大式様、社役天羽主計	菊池庄司、親類五兵衛	杖	1		○

A8-4	御院申一札の事	なし=院証文一札	1850嘉永3戌年2月	根本大隅様	当人庄司、口入証人子右衛門ほか	状	1			○
A8-5	(神社朱印)	なし=神祇官領東御役所、神田御社、日吉山王権現、妻恋神社、湯島天満宮、根津御社、白山神社、氷川御社、牛天神、平河天満宮、愛宕山神殿								
A8-6	往来一札の事	なし=往来手形	1850嘉永3年戌7月朔日	諸国神職并村役人中	八幡宮神主根本河内	状	1			○
A9-1	差上申謝礼証文の事	なし=質地差し纏れ解決謝礼	1851嘉永4辛亥年12月	神古市場村清助殿	大庭村重兵衛	状	1	△		○
A9-2	入置申永々小作証文の事	永々小作証文	1852嘉永5年12月	根本大隅殿	小作主吉松、本家儀兵衛	状	1			○
A9-3	入置申小作証文の事	永々小作証文1通	1852嘉永5年12月	根本大隅殿	小作主吉松、本家儀兵衛	状	1			○
A9-4	差入申一札の事	なし=社殿修復再建費用足相、小木抜伐	1854嘉永7寅年8月	菊間村神主根本大隅殿	兼帯別当若宮寺	状	1			○
A9-5	鑑定一札の事	社中連印書神主大隅へ一札	1854安政元寅年12月13日	神主根本大隅殿	社家天羽主計ほか	状	1	△		○
A9-6	一札の事	なし=無住寺の諸勘定決済	1860万延元申年11月	根本大隅守様、社役人中	社僧徳性院兼帯東漸院	状	1			○
A9-7	一札の事	東漸院伐木に付若宮寺より受取書面	1860万延元申年中2月	菊間村根本大隅守様	若宮寺	状	1	△		○
A9-8	一札の事	なし=境内病木虫食抜伐	1861文久元年3月	根本大隅守殿	市川主膳ほか、天羽主計、東漸院	状	1	△		○
A9-9	以上書御届申上候	なし=東漸院境内伐木について	1861文久元年西4月9日	根本大隅殿	中木八十八ほか	状	1			○
A9-10	一札の事	なし=若宮八幡宮別当譲渡	1862文久2戌年3月	なし	若宮寺、根本大隅、天羽主計、東漸院	状	1			○
A9-11	一札の事	なし=社僧寺修復助金	1862文久2戌年正月	根本大隅殿	社僧東漸院	状	1			○
A9-12	為取替申一札の事	なし=召抱え下されたき段	1864文治元丑年12月	根本大隅殿	北野栄助	状	1	△		○
A9-13	差上申済口証文の事	長谷川市重郎名主被印付候処小前の者共不釋依に付同人と小前口右事件社寺3名扱方上書	1868慶応4辰年6月	御地頭御役人中	小前総代半兵衛ほか、扱人干光院、福壽院、根本大隅	状	1			○
A9-14	寺揚一札の事	なし=福壽院寺務留守居になる	1868明治元辰年11月	根本大隅様	東漸院有実	状	1			○
A9-15	以書付懸願申上候	なし=僧形復飾のお断り	1868明治元辰年11月	根本大隅様、社役人衆中	若宮東漸院	状	1	△		○
A9-16	以書付御願申上候	なし=別当寺住職、転住について願	1868明治元辰年11月	根本大隅様、社役人衆中	若宮東漸院	状	1			○
A9-17	乍恐以書付御願申上候	神葬祭に付願出	1869明治2巳年5月	八幡民政假御役所	菊間村願人惣代熊吉、名主太重郎	状	1	△		○
A9-18	乍恐以書付願上候	なし=飯香岡別当差し纏れ一件	1869明治2巳年3月	菊間藩社寺御役所	根本大角	状	1			○
A9-19-1	上総市原郡菊間村	なし=千葉神社園面、天神塚社園面	明治はじめ	千葉県令船越衛殿	根本大角	状	1			○
A9-19-2	同郡同郡同村	なし=日枝神社園面	明治はじめ	千葉県令船越衛殿	根本大角	状	1	△		○
A9-20	一札の事	なし=神葬祭願いともなう難目について	1869明治2巳年5月	鎌吉、吉松、太郎吉ほか殿	菊間干光院	状	1			○
A9-21	差上申頼一札の事	なし=神仏混淆一新	1869明治2巳年5月	根本大隅様	神主院、小島右京、弥左衛門、吉重	状	1	◎		○
A9-22	為取替申一札のこと	干光院寄附より根本大隅へ地藏院寺院廃止の件	1869明治2巳年2月	根本大隅殿	干光院寄附、扱人且頭祐右衛門	状	1	△		○
A9-23	為取替申替地証文の事	なし=替地	1870明治3庚午年11月	根本大隅殿	替地主松本平蔵、親類ほか	状	1	△		○
A9-24	神文の事	なし=神文	1870明治3年6月25日	八幡大神主平道胤君	能満日吉神社小嶋右京、源正道	状	1	△		○
A9-25	入置申証文の事	なし=高呂塚下田地の件	1873明治6癸酉年2月	根本大隅殿	当村総代飯島武治郎ほか	状	1			○
A9-26	願一札の事	なし=新政府軍か20両借用証文	1868慶応4辰7月日	菊間村根本大隅殿、今津村	始関山城殿	状	1			○
					大畑春太郎	状	1			○
A10-1	乍恐以書付奉申上候	なし=満徳寺より1件、徳性院再造立	1815(文化12年)乙亥6月2	なし	神主根本齋宮父根本河内	状	1			○
A10-2	覚	なし=松山売却	子6月25日	若宮宮右衛門殿	山荒主神主	状	1			○
A10-3	覚	なし=泉蔵寺出世金	丑の8月28日	常陸之助殿	干光院	状	1			○
A10-4	覚	なし=国給園面改め	丑5月	なし	なし	状	1			○
A10-5	差上申一札の事	なし=祭礼での不束な儀詫	寅9月日	神主根本齋宮様	親類代市川軍曹、同徳右衛門	状	1			○
A10-6	覚	なし=手形	寅4月23日	菊間治兵衛殿	上総屋太助	状	1			○
A10-7	覚	なし=引き祝い、料亭明細	卯3月5日	川名梅吉殿	藤原熊蔵	状	1			○
A10-8	覚	なし=夏鷹狩り費用	卯	なし	なし	状	1			○
A10-9	なし	なし=北の蓬山伐り取りわび書	なし	なし	常陸介	状	1			○
A10-10	戌の御年貢米割付	いぬ「判読不能」=割付内容	戌12月	常陸介様	名主左平	状	1			○

A10-11	なし	戌6月中満徳寺より出内済ヶ条趣意書	戌6月	なし	なし	状	1			○
A10-12	問合書の手	八幡若宮寺より根本大隅へ対し社僧東漸寺住職を相定寺院修復の件	申12月19日	菊間村根本大隅様	ヤハタ若宮寺	状	1			○
A10-13	覚	なし=朱印頭取寺社は朱印写を持参すべ	申11月	なし	なし	状	1			○
A10-14	覚	野田三郎左衛門殿名主方より願状の写	申12月3日	なし	野田三郎左衛門役所	状	1			○
	(急御用廻状)	なし=廻状、国役金の件	申12月5日	根本大隅様ほか	八幡村名主卯兵衛	状	1			○
A10-15	覚	御書付写=川々音請園役掛	申11月	なし	御勘定所	状	1			○
A10-16	申未進	なし	なし	なし	なし	状	1			○
A10-17	亥年入用覚え	なし=本社銅屋根張替え社家分取立米	亥12月	社中代	神主根本齋宮父根本河内	状	1			○
A10-18	覚	なし=社領分国役金受取	戌9月20日	常陸介様	市郎左衛門	状	1			○
A10-19	為取替の事	鑑定書取替一札	亥7月4日	なし	満徳寺、根本河内	状	1			○
A10-20	前文略	なし=訴訟方趣意書	亥6月	なし	訴訟方	状	1			○
A10-21	覚	なし=飯料の内請取り	寅2月13日	根本大隅様、平田鑑蔵様	伏見屋重兵衛	状	1			○
A10-22	口上の覚	円福寺へ申し遣し候口上の控	なし	なし	なし	状	1			○
A11-1-1	上総市原郡小田部村株場地図		明治	なし	なし	葉	3			○
A11-2	両門徒の覚	若宮寺、満徳寺両門徒の末寺	江戸後期	なし	なし	状	1	◎		○
A11-3	(書簡)	なし=	7月13日	根本大隅様	八幡村役人	状	1			○
A11-4	公儀御馳承知仕候覚	なし=宝永7年など触書4点報告	なし	なし	なし	状	1			○
A11-5	(貝桶)	なし=絵園面2点	なし	なし	なし	状	1			○
A11-6	稻荷社	なし=敷地絵園面、朱引の内積古所、明地	なし	なし	なし	状	1			○
A11-7	(稻荷社周辺別紙園面部分)	年番、前田六郎右衛門殿、中田郷左衛門殿より渡る	なし	なし	なし	葉	1			○
A11-8	(触当人足覚)	なし=八幡役、中川役	なし	なし	なし	葉	2			○
A11-9	(円福寺より書簡)	なし=幸音院出入	なし8月29日	根本大隅様	円福寺義漸	状	1			○
A11-10	(円福寺より書簡)	なし=幸音院出入	なし3月28日	根本大隅様	円福寺義漸	状	1			○
A11-11	(円福寺より書簡)	なし=幸音院出入	なし7月24日	根本大隅様	円福寺義漸	状	1			○
A11-12	(薬王寺より書簡)	なし=	なし3月24日	根本大隅様	薬王寺	状	1			○
A11-13	口上覚え 根本日章寺	なし=屋敷稻荷預り	なし閏2月	三好助右衛門殿	根本日章寺	状	1			○
A11-14	覚	なし=引き祝い	なし3月5日	川口梅吉殿	部屋親大口錢次郎	状	1			○
A11-15	簡条書	なし=神主心得書	なし	なし	なし	状	1			○
A11-16	(呼出状)	なし=	なし4月26日	菊間村八幡神主根本大隅殿	松平左衛門尉役人	状	1			○
A11-17	覚	なし=鷹匠、烏屋、野廻宿泊	なし	なし	畑次郎	状	1			○
A11-18	御鷹匠購入用	なし=差引勘定	なし	なし	なし	状	1			○
A11-19	覚	なし=金銭請取	なし2月4日	常陸介様	大助	状	1			○
A11-20	(書簡)	なし=年賦米	なし正月19日	なし	なし	状	1			○
A11-21	覚	なし=屋敷稻荷	享保12年11月か	なし	なし	状	1			○
A11-22	(増築か住居普請園)	なし	なし	なし	なし	状	1			○
A11-23	御奉行所へ差上候済口証文一通、換証文本紙一通(本文なし)	なし	なし	なし	菊間村八幡宮神主根本常陸介	上包	1			○
A11-24	(神名表)	上総八幡宮社依問予答(無関係か)	なし	なし	なし	状	1			○
A12-1	子御鷹匠請勘定	なし=鷹匠購入用、園役金	子年極月14日	なし	兵右衛門組	状	1			○
A12-2	覚	なし=御年貢諸財納辻	辰年3月9日	畑次郎殿	名主宗右衛門	状	1			○
A12-3	(賞御年貢諸財納辻)	なし	卯年2月5日	畑次郎殿	名主宗右衛門	状	1			○



A12-4	覚	台組午どし=年貢勘定	午12月28日	欠損	台より	帳はずれ	状冊	1	
A12-5	(神主、坊外年貢番上)	なし	なし	なし	なし			1	
A12-6	丑の年小作出覚、寅の小作出覚	なし	なし	なし	なし		状冊	1	
A12-7	覚	なし=寅の年貢出辻	なし	なし	なし		状冊	1	
A12-8	覚	なし=戌年貢諸具才出分)	なし	なし	なし		状冊	1	
A12-9	戌勘定	なし=年貢勘定	亥正月20日	なし	徳永組		状冊	1	
A12-10	覚	なし=鷹入用割、人馬賃銭、權立勘定	寅年	なし	なし		状冊	1	
A12-11	覚	なし=勘定具才出辻、小作納方	戌11月29日	なし	なし		状冊	1	
A12-12	徳永組高役人馬割	なし	なし	なし	なし		状冊	1	
A12-13	覚	なし=御宿御用、国役金勘定	寅正月18日	畑次郎殿	次助		状冊	1	
A12-14	覚	なし=亥年出辻、子年出辻	極月	畑次郎殿	新之丞		状冊	1	
A12-15	覚	なし=日光社参、国役金、夏鷹入用割勘定	申の12月27日	常陸介様	市郎左衛門		状冊	1	
A12-16	覚	なし=小作米か	なし	畑次郎殿	兵衛門		状冊	1	
A12-17	覚	なし=年貢皆済	午12月24日	根本常陸介様	市郎左衛門		状冊	1	
A12-18	覚	なし=年貢皆済	丑11月	畑次郎殿	名主太郎右衛門		状冊	1	
A12-19	覚	なし=年貢皆済	寅11月16日	なし	市郎左衛門		状冊	1	
A12-20	覚	なし=年貢皆済	亥12月	畑次郎殿	名主左兵衛		状冊	1	
A12-21	覚	子=年貢皆済	なし	欠損	欠損		状冊	1	
A12-22	覚	なし=年貢勘定	戌正月26日	なし	左兵衛組		状冊	1	
A12-23	覚	なし=年貢勘定	乙酉の12月25日	常陸介様	市郎左衛門		横折	1	
A12-24	覚	なし=年貢勘定	酉	なし	なし		状冊	1	
A12-25	なし	なし=年貢皆済	巳12月	畑次郎殿	名主善右衛門		状冊	1	
A12-28	覚	丑年下内=年貢割付	なし	なし	下の内組		状冊	1	
A12-27	覚	なし=年貢勘定	なし	なし	なし		状冊	1	
A12-28	覚	徳永組勘定	なし	なし	なし		状冊	1	
A12-29	覚	徳永組丑どし=年貢勘定	丑年	なし	なし		状冊	1	
A12-30	覚	なし	なし	なし	欠損		状冊	1	
A12-31	左兵衛殿分	なし=勘定	なし	欠損	なし		状冊	1	
A12-32	覚	なし=百年割付、諸勘定	なし	なし	なし		状冊	1	
A12-33	覚	なし=畑次郎訳勤方、年貢勘定	なし	なし	なし		状冊	1	
A12-34	覚	なし=勘定	なし	なし	なし		状冊	1	
A12-35	欠損(覚)	なし=勘定	なし	なし	なし	前後欠損	状冊	3	
A12-36~43		年貢関係が断片							
A13-1	未進日延証文の事	なし	1768明和5年極月28日	神主殿	小作人、請人		状冊	1	
A13-2	米証文の事	徳長寺	1774安永3年5月	根本畑次郎殿	預主戒制寺、名主宗右衛門		状冊	1	
A13-3	借用申証文の事	借主	1778安永7成年12月	常陸介様	地主、名主		状冊	1	
A13-4	未進年賦証文の事	借主	1779安永8成年12月	畑次郎殿	若宮借主		状冊	1	
A13-5	借用申米の事	借主	1783天明3年卯2月	神主殿	若宮借主		状冊	1	
A13-6	未進証文の事	北の借主	1783天明3年卯12月27日	根本常陸介殿	請人、借主		状冊	1	
A13-7	借用申米の事	借主	1783天明3年卯12月25日	根本常陸介殿	借主、人主(貼紙)請合		状冊	1	
A13-8	借用申米の事	借主	1785天明5年巳正月	根本常陸介殿	借主、名主		状冊	1	
A13-9	借用申米の事	若宮借主	1785天明5年正月	根本常陸介殿	借主、請人		状冊	1	
A13-10	未進証文の事	借主	1785天明5年巳正月	神主殿	借主、名主		状冊	1	

平朝臣治胤  
 右可從五位下  
 中務修其祝敬致敬明神  
 言念耕鑿神可褒進宜授  
 榮爵式先祠壇可依前件  
 主者施行  
 事保六年七月廿一日

二品行中務卿邦永親王  
 從二位行中務大納言臣  
 從三位行中務大納言臣  
 從四位行中務大納言臣  
 從五位行中務大納言臣  
 從六位行中務大納言臣

通躬  
 致季  
 冬照  
 兼香  
 惟通  
 基長  
 公澄

平朝臣治胤  
 右可從五位下  
 中務修其祝敬致敬明神  
 言念耕鑿神可褒進宜授  
 榮爵式先祠壇可依前件  
 主者施行  
 事保六年七月廿一日

二品行中務卿邦永親王  
 從二位行中務大納言臣  
 從三位行中務大納言臣  
 從四位行中務大納言臣  
 從五位行中務大納言臣  
 從六位行中務大納言臣

通躬  
 致季  
 冬照  
 兼香  
 惟通  
 基長  
 公澄

從二位行權大納言臣  
 從三位行權大納言臣  
 從四位行權大納言臣  
 從五位行權大納言臣  
 從六位行權大納言臣  
 從七位行權大納言臣  
 從八位行權大納言臣  
 從九位行權大納言臣  
 從十位行權大納言臣  
 從十一位行權大納言臣  
 從十二位行權大納言臣  
 從十三位行權大納言臣  
 從十四位行權大納言臣  
 從十五位行權大納言臣  
 從十六位行權大納言臣  
 從十七位行權大納言臣  
 從十八位行權大納言臣  
 從十九位行權大納言臣  
 從二十位行權大納言臣

兼親  
 兼原  
 隆敬  
 公緒  
 尚房  
 常雅  
 公詮  
 基春  
 治房  
 實松  
 公福

事保六年七月廿一日

龍中辨高顯  
 關白從一位朝臣  
 太政大臣  
 從一位行左大臣朝臣  
 右大臣正二位朝臣  
 左大臣正二位朝臣  
 無品式部卿奉仁親王  
 從二位行式部權大輔長義  
 參議從三位行左大臣朝臣  
 告從五位下平朝臣治胤奉  
 副書如右符到奉行  
 式部少輔

大錄  
 少錄  
 少錄  
 事保六年七月廿一日

口 宣案 A2-1

寬延元年九月廿三日 宣旨

從五位下平治亂

宜叙從五位上

藏卷中辨俊將

A2-4

享保六年後七月廿日 宣旨

平治亂

宜叙從五位下

藏卷中辨俊將

口 宣案

務修其祝也

念精誠抑可

不爵成光祠

一者施行

享保六年後

二品行中

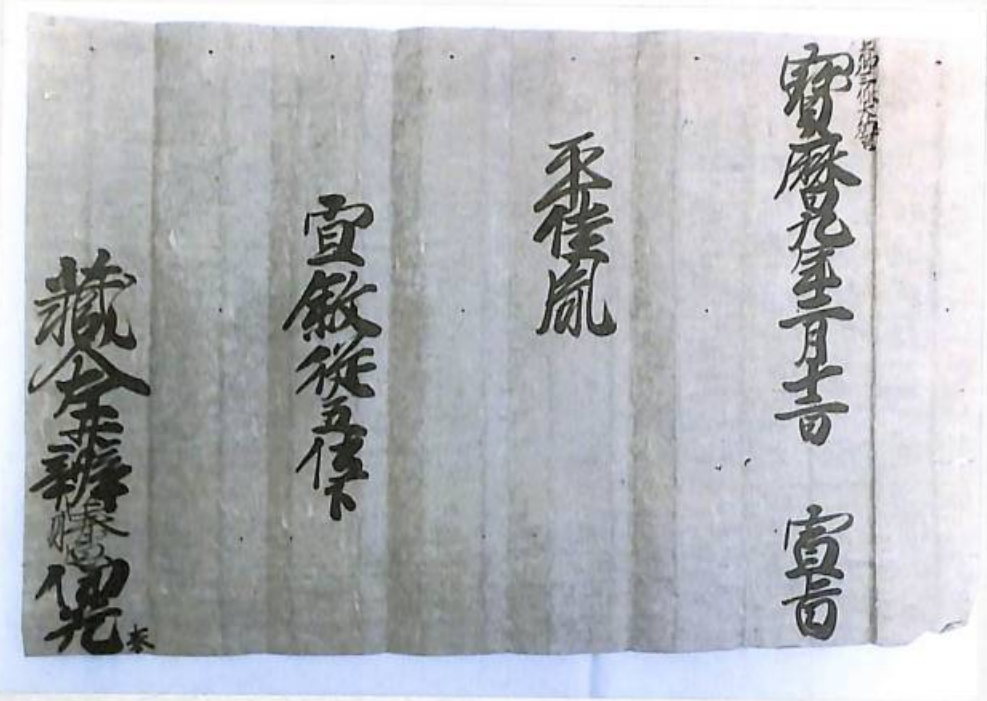


內大臣正二位朝臣  
無品式部卿家仁親王  
從二位行式部權大輔長義  
參議從三位行左大辨光榮  
告從五位下平朝臣治胤奉  
制書如右符到奉行  
式部少輔 關

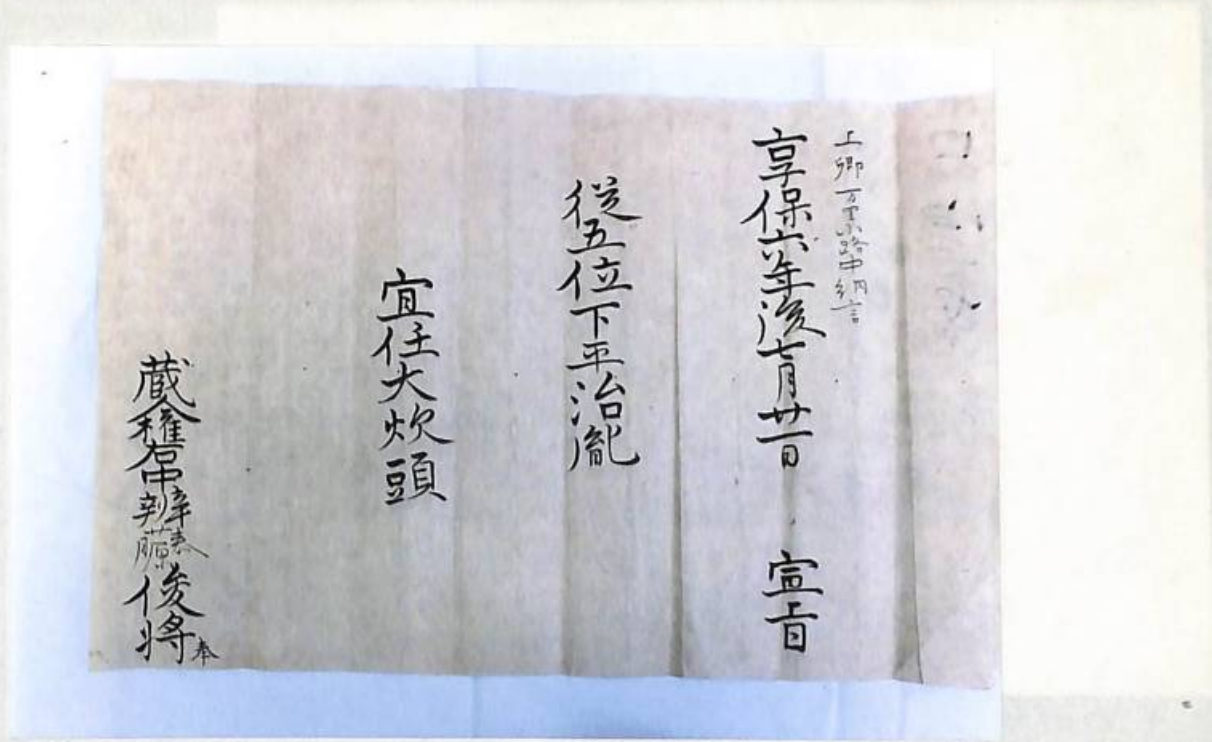


享保六年後七月廿一日

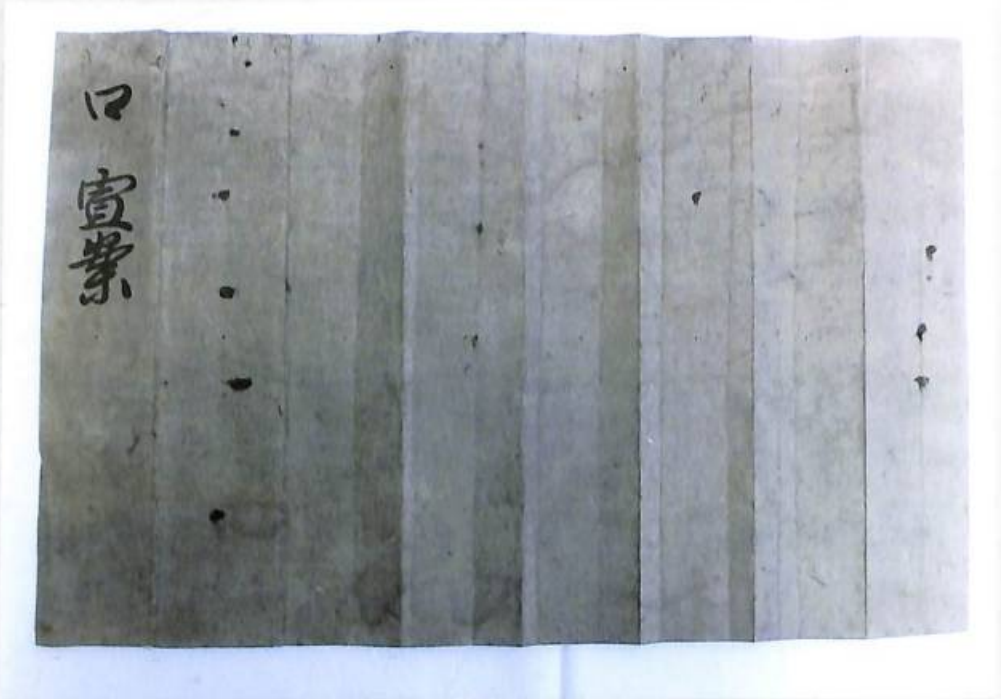
大錄 少錄 少錄



A2-2



A2-5



寶曆九年正月吉 宣旨  
從五位上藤原  
宣任常陸友  
藏余辨藤原  
先

宣業  
小

A 2 - 3